

環境調査結果のお知らせ

平成29年6月8日午前10時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21~23℃、塩分26~35、溶存酸素量7~8mg/lでした。
透明度は2~5mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、ケラチウム属、有毒種のアレキサンドリウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温20.7~22.9℃、塩分26.0~34.9でした。
水温は2m層から底層で0.2~1.6℃上昇しました。塩分は5m層で0.1上昇し、表層から2m層及び10m層から底層で0.1~0.5低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.7~8.4mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.1~0.9mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は1.5~4.5mでした。
検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモトイが最高で1cells/ml、ケラチウム属が最高で8cells/ml、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で1cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

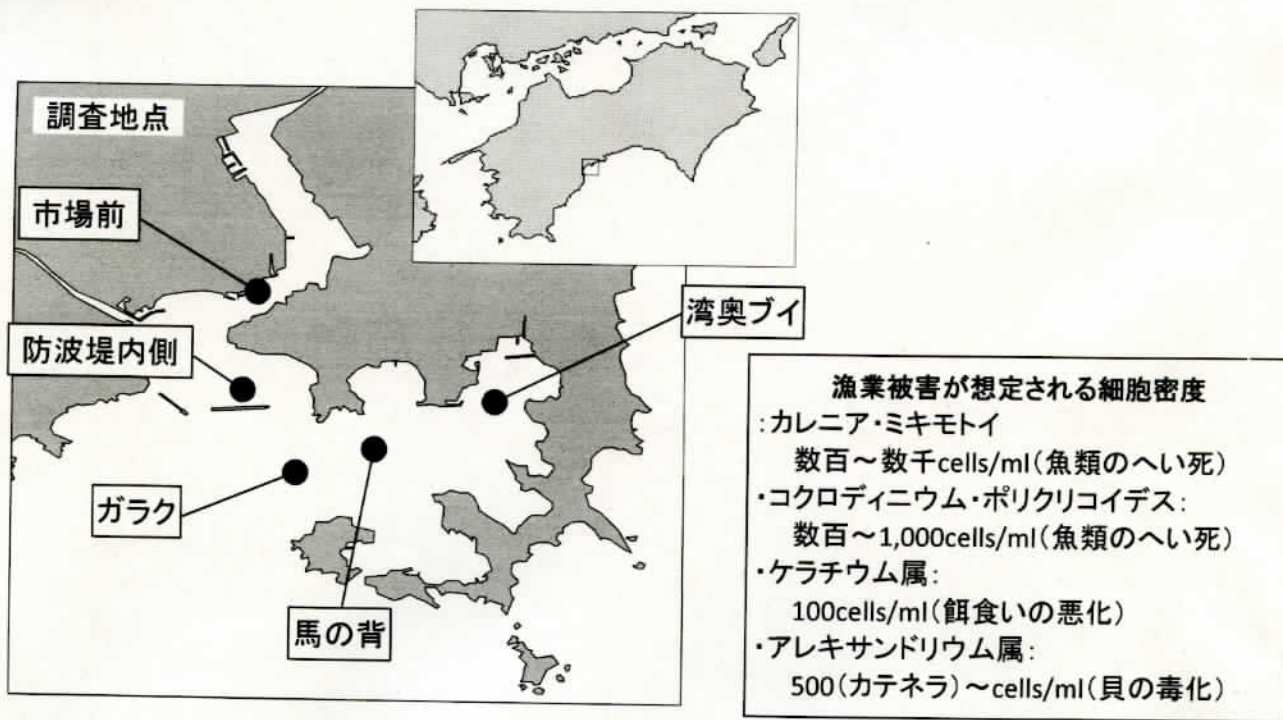


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.8	22.9	22.6	22.3	22.8	22.8	0.0	22.7
2m	22.9	22.7	22.5	22.6	22.7	22.5	0.2	22.5
5m	22.5	22.3	22.4	22.5	22.4	22.1	0.3	22.3
10m	21.9	21.6	21.6	22.0	21.7	20.7	1.0	22.0
B-1m	21.1	20.7	21.5	21.8	21.1	19.5	1.6	21.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.5	34.1	34.0	26.0	33.9	34.4	▲ 0.5	27.6
2m	34.3	34.4	34.2	34.0	34.3	34.4	▲ 0.1	33.7
5m	34.5	34.5	34.6	34.4	34.6	34.5	0.1	34.5
10m	34.7	34.7	34.8	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.6
B-1m	34.8	34.9	34.8	34.7	34.8	35.0	▲ 0.2	34.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.5	7.4	7.4	8.4	7.4	8.0	▲ 0.6	7.9
2m	7.9	7.3	7.4	7.8	7.5	7.9	▲ 0.4	7.7
5m	7.4	7.0	7.1	7.5	7.1	8.0	▲ 0.9	7.2
10m	6.7	6.9	6.8	7.0	6.8	7.3	▲ 0.5	6.8
B-1m	7.0	7.2	6.9	6.8	7.0	7.1	▲ 0.1	6.2

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.3	23.4	15.0	14.8	12.8
透明度	4.2	3.5	4.5	2.5	1.5
前回(5/29)	3.8	3.2	3.4	4.0	2.2

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	コクロディニ ウム・ポリク リコイデス	ケラチウム属	アレキサン ドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	210
	2m	0	0	0	0	440
	5m	0	0	6	0	290
馬の背	0m	0	0	2	0	500
	2m	0	0	2	0	200
	5m	0	0	8	1	110
ガラク	0m	0	0	0	0	250
	2m	0	0	1	0	410
	5m	1	0	1	0	180
津波防波 堤内側	0m	0	0	0	0	4,800
	2m	0	0	0	0	4,100
	5m	0	0	0	0	800
市場前	0m	0	0	4	0	1,200
	2m	0	0	1	0	4,800
	5m	0	0	1	0	1,800